

<報道関係各位>

ふるさと祭り東京2017ー日本のまつり・故郷の味ー

40万人超が来場！第8回全国ご当地どんぶり選手権では『八戸銀サバトロづけ丼』が2連覇達成！

開催期間：2017年1月7日(土)～15日(日)【9日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月7日(土)から15日(日)までの9日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の‘祭り’や‘ふるさとの味’が一堂に会した『ふるさと祭り東京2017ー日本のまつり・故郷の味ー』を開催し、**405,389人**のお客様にご来場いただきました。

最終日の15日(日)には、「第8回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。今回本戦出場の全15どんぶりのうち、青森県の「八戸銀サバトロづけ丼」が、見事グランプリに輝きました。「八戸銀サバトロづけ丼」は前回に続き2回目のグランプリ獲得を果たし、「殿堂入りどんぶり(殿堂丼)」となりました。

準グランプリ(第2位)は鹿児島県の「志布志発 かがしま黒豚三昧」、第3位は北海道の「十勝牛とろ丼」、第4位は北海道の「とろサーモンといくらの親子丼」、第5位は愛知県の「名古屋コーチン親子丼」でした。この4どんぶりには次回の全国ご当地どんぶり選手権のシード権が与えられます。なお、グランプリには賞金50万円+副賞、準グランプリには賞金30万円+副賞、第3位には賞金10万円+副賞を授与しました。

グランプリを受賞した「八戸銀サバトロづけ丼」の、日本で唯一のサバ料理専門店サバの駅 沢上弘さんは、「本当に嬉しい一言に尽きる。感無量です。出場への準備も含めて厳しい戦いが続きましたが、地元の方々や応援してくれる皆様の支えがあって、グランプリを獲得することができました。銀サバを食べに八戸へたくさんの方が訪れてくれるよう、これからも頑張っていきたいです。」と喜びを語りました。



「第8回全国ご当地どんぶり選手権」
結果発表・表彰式の様子
サバの駅 沢上弘さん

<第8回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



八戸銀サバトロづけ丼
日本で唯一のサバ料理専門店
サバの駅(青森県)

【準グランプリ】



志布志発 かがしま黒豚三昧
志布志いい肉食べさせ隊
(鹿児島県)

【第3位】



十勝牛とろ丼
(株)円らく
(北海道)

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに“コイン”を投票していただき、順位が決まります。

また、会期中、〈弘前ねぶたまつり〉〈青森ねぶた祭〉をはじめ、〈秋田竿燈まつり〉〈高知よさこい祭り〉〈沖縄全島エイサーまつり〉など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、「ふるさと祭り東京」から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 岩村直道事務局長は、「9日間、非常に多くのお客様に会場を訪れていただき、日本の素晴らしい文化であるお祭りやご当地の味を、ご紹介することができました。ぜひ今度はそれぞれのご当地へ足を運んでいただき、ご当地の環境で、伝統のお祭りやふるさとの味を体感していただきたいと思います。」と語りました。

本年度9回目の開催となりました「ふるさと祭り東京ー日本のまつり・故郷の味ー」は、皆様のご期待にお応えし、2018年も開催の予定です。今後ともご期待ください。